

I C T研修会について（外部講師研修会）

支援研究部

【はじめに】

今年度の研究テーマである『令和なんばのニュースタンダード～ICTをもっと身近に、もっと便利に～』に基づいて、外部講師を招いてのICT研修会を行いました。ICT機器を活用した授業力を高めることができるように、実際にiPadを使用しながら活用方法を学びました。また、教師のICTに関する知識や能力に応じて、研修内容を基礎編、応用編の二つに分けて企画し、実施することとしました。講師の先生は、NPO法人支援機器普及促進協会の理事長をされている高松崇様をお迎えして研修を行いました。

【内 容】

「自立は、依存先を増やすこと」をもとに、基礎編では、あらかじめ設定しておくことで児童生徒の選択肢を増やすことができる音声入力などの設定方法の紹介やiPadの基本的な使い方の研修を行いました。応用編では、授業に役立つアプリの紹介と実際に体験を行いました。紙の塗り絵が3Dで動き出す「Quiver」、漢字に振り仮名をつけることができる「ふりがなPDF」など、他にもたくさんのすぐに授業に活用できる内容を教えていただきました。



【まとめ】

アンケート結果より、「iPadの使い方を幅広く知ることができた」「学習指導の幅が広がった」「ICT機器を使って児童生徒の自信を増やすことができると思った」など、今後の授業に活かせるという意見が多くありました。ICT機器に苦手意識を持っていても「これならできる！」と思えるような内容をお教えいただき、基礎編、応用編とにレベルを分け講義を実施したことで有意義な研修になりました。ICT活用能力には個人差があるので、来年度も個々の能力に応じた研修ができるような内容を検討していきたいと思えます。